
大阪ガス実験集合住宅NEXT21



この実験住宅にはスケルトン・インフィル方式が全面的に採用されている。「スケルトン」は建築の専門用語で言うと、構造躯体とのこと。柱や梁など建物を支えている要素を指す。「インフィル」はそれ以外の部分。間仕切り壁や内装、ガス管や水道管といった設備などがこれに入る。この2つをきっぱりと分けてつくろうというのが同方式だ。これによって、短期間の取り壊しを避けながら、住まいとしての性能を高めることが可能になる。外部有識者や住民からの提案を柔軟に試みて、現在に至っている。その間に敷地内の木々は育ち、屋上の緑に渡り鳥が観察され、周辺住民との関係も形成されてきた。スケルトン・インフィル方式という先進的な技術に血が通い、これからの都市の生活への指針が得られ続けている。(倉方俊輔)

英語名：Experimental Housing NEXT21

所在地：大阪市天王寺区清水谷 6-16

建設年：1993年 -